



がるといいですね。

ちなみにこの青年会議所、前回のキーワードは「MOTTA IN AI」だったんですよ。世界に広がりましたよ、ノーベル賞ですから。

削れる歯

ご存知のように、顎の力は大きく、その力を受け止める歯や顎はとても強い構造物です。しかし、いったん噛み合わせのバランスを崩してしまうと大変なことになってしまいます。

このような強固な歯ですが、長年

にわたって力を受けているとユニークな形状になることがあります。

分かりやすい形としては歯の先端が削れて丸くなっているようなもの。特に、上の糸切り歯などに多く見られます。面白いところでは歯の表面が波打つように段々に削れてしまっている方。決して歯と歯が接触する場所ではないのですが削れてくるんです。最近数人拝見したもので、下の奥歯の噛む面に、直径1ミリほどの球状のくぼみが出来ている方がいました。このような形状になるためにはどのような力が加わっているのか考えると夜も眠れないくらい……（嘘！）

皆さんは歯がユニークな形に削れるのはとても不思議に感じるかもしれませんが、多いケースなんです。例えば、川に行くといろんな形の石が

転がっています。もちろん丸いものが多いのですが、みように表面がギザギザだったり、角張っているものもあります。これらは石でありながらそれぞれに硬さが異なっていたり、川の水の流れ（力）をどのように受けてきたかによって形が異なります。歯の削れ方によって口の中で生じている力の流れを読むこと、これが僕たちの仕事なんです。

このような歯は、審美的に問題があれば修復することもあります。むし歯ではないのでほっとくことも多いです。ちなみに、歯が削れていると「歯ブラシの力が強いんです」と言われたことはありませんか？ それは冤罪事件です！